YONEMORI TIMES
Vol.100　2025.12月発行

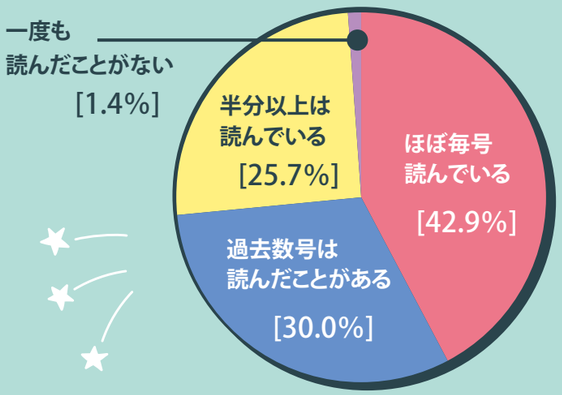


ありがとう 社内報『YONEMORI TIMES』

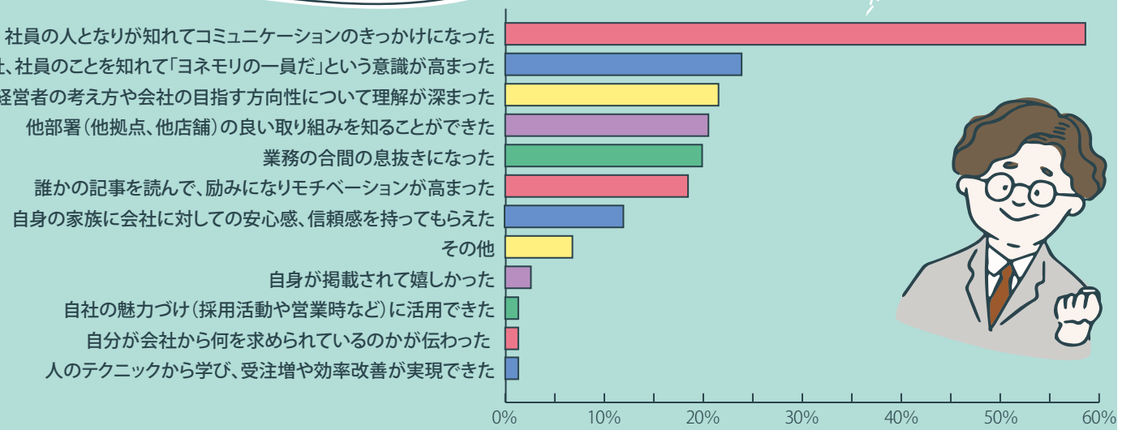
100号記念特集！

このたび、社内報『YONEMORI TIMES』が、ついに100号を迎えました！
記念すべき節目に、社員の皆さんから社内報に関するアンケートにご協力いただきました。その結果を、寄せられたコメントと共にご紹介します。

Q1 社内報にどの程度目を通していますか？



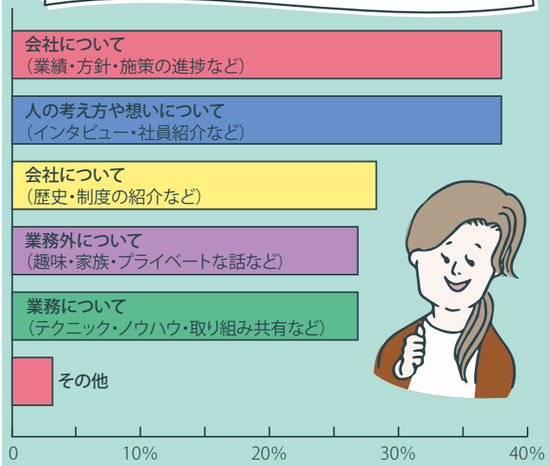
Q2 社内報によって起きた「変化」に当てはまるものを教えてください！



「変化」について具体的なエピソードを教えていただきました！

- ◆他部署の知らない情報が得られた！
- ◆他部署の関係性の薄い人の生い立ちや人となりが知れてコミュニケーションに役立った！
- ◆後輩への期待感を伝える機会になった！
- ◆部内の社員が掲載された号は、妻にも見せています。家での会話の中で名前の出る社員については特に興味深く読んでいます！
- ◆自分が取り組んでいる仕事が特集され、皆さんに理解してもらえたことを実感！
- ◆普段は接点が少ない社員の人となりや過去、仕事に対する考え方などを知れた！
- ◆掲載された社員の人となりを知り、会話のきっかけになった！
- ◆中途採用の社員の方が多くいるため、経歴などを知ることで会話のネタになり、コミュニケーションを取りやすくなった！

Q3 より読みたいのはどんな企画ですか？

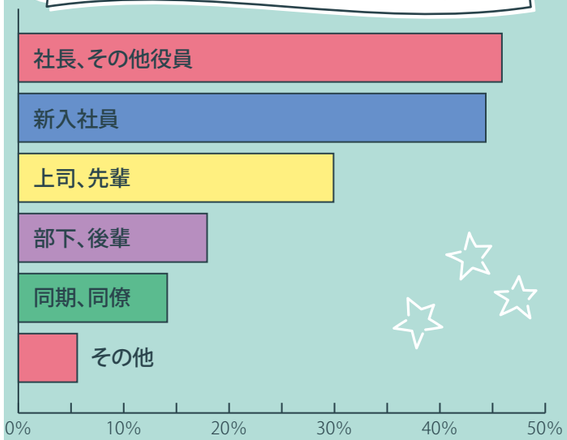


Q4 「こんな企画が読みたい」というものがあれば教えてください！

- ◆法律で改正されたことの案内
- ◆会社がこれから取り組もうとしていること、経済成長、社会貢献、福利厚生、手当がつく資格の一覧、鉄骨や鉄についての豆知識コーナー
- ◆他部署の方となかなか交流がないため、仕事内容や業務外のことが知りたい！
- ◆株式会社石川検査について
- ◆社員の皆さんの夢や目標を聞きたい！
- ◆同期座談会！中途入社社員が多いため、同期意識が芽生えるかも……？
- ◆ベテラン社員の若い頃の写真やエピソードを知りたい！
- ◆福利厚生の具体的な紹介（エイムやエクシブホテル、その他の社会的取り組み、武士団のサポート企業など）
- ◆メセナへの取り組みについて紹介してほしい！

メセナ……フランス語で「芸術文化支援」を意味し、企業などが利益追求とは別に、文化・芸術活動や地域社会の発展を支援する活動のこと。

Q5 より読みたいのは誰の記事ですか？



Q6 「この人の記事が読みたい」という方がいれば教えてください！

- ◆他部署との交流があまりないため、他部署の若手について知りたい！
- ◆株式会社石川検査の今後の展望について、より具体的な内容を知りたい！
- ◆若手たちの情報をもっと知りたい！
- ◆男性社員の登場率が高いため、女性社員の記事も読みたい！
- ◆ヨネモリのステークホルダー（仕入先、販売先、競合他社、運送業者、地域住民など）の記事があれば、自社を客観的に見る機会になるはず！
- ◆ベトナム出身の社員や実習生の特集！
- ◆中途社員のこれまでの経験や異業種出身者から見たこの業界の感想を知りたい！

Q7 印象に残っている企画や思い出に残っている企画を教えてください！

- ◆お誕生日のお祝い企画
- ◆行きつけグルメ店の紹介
- ◆当時、大変ながらも頑張って取り組んでいたbox製作について特集してもらった記事
- ◆自分の部下の話や自分と同じ拠点で働く社員の方の記事
- ◆米森社長の家庭での姿が垣間見えるインタビュー記事
- ◆仕事での失敗談

Q8 ご家族からの、社内報に関する感想やご意見をがあればぜひ共有ください！

- ◆社内の様子が知れて、どのような方々と仕事をしているかがわかる！
- ◆子どもがときどき読んでいて、特に同僚のお子さんの写真などを喜んで見ています！
- ◆自分の記事を子どもに見せると、自分の仕事を感じてもらえて喜んでいた！

Q9 その他、社内報に関するご意見があればぜひ共有ください！

- ◆いつも楽しみに読んでいます！
- ◆何回かインタビューを受けましたが、電話のやり取りのみで、素晴らしい記事を書いてもらい、業種は違えどさすがにプロの仕事だと感心しました！
- ◆対応いただいている総務の方々、いつもありがとうございます！感謝しています。
- ◆社外用にも製作できる記事があればぜひ顧客へ配りたい！

アンケートにご協力くださった皆様、
たくさんの貴重なご意見をいただき
ありがとうございました！

2025年 個人的BIGニュース！

早いもので、2025年も残りわずか。今回は3名に今年に起こった個人的ニュースを聞きました！部署異動や結婚、資格取得といった嬉しい出来事から、熊との遭遇（！）といった驚きの出来事まで。仕事にもプライベートにも全力な皆さんの、アツい近況報告にご注目ください！



品質管理部
近藤 涼（こんどう りょう）さん

仕事編　約10年間お世話になった鉄構部から異動！

異動から1年ほどになりますが、これまでに培った技術を活かして、受入検査で測定や検査資料を作成できるレベルまで成長しました。お世話になった鉄構部に貢献できるよう、日々精進していこうと思います。

プライベート編　2025年9月25日に入籍しました！

急遽決まったことで、あたふたした面があったものの、数多くの先輩方に助けていただいたおかげで、スムーズに進めることができました。本当にありがとうございます。新たな生活はまだまだ慣れないこともありますが、楽しんでいきたいと思います。

2026年の意気込み　資格試験に挑戦して検査対応に活かす！目標のログハウスを建てるため、仕事をないがしろにせず、プライベートも満喫する！そして今年行けなかったイカメタルにリベンジします！



鉄構3課 課長
中川 陽平（なかがわ ようへい）さん

仕事編　女性の部下ができました！

工場作業になるので、ケガなどないよう一人前に育てるつもりです。工場内の雰囲気もさらに明るくなったのではないでしょうか。

プライベート編　朝の通勤時に熊に遭遇！

信号で停まっている自分の車めがけて突進！ぶつかる直前にかわして去っていきました。素手で退治したかったんですけどねぇ……。

2026年の意気込み　部下の育成に力を入れる！プライベートではウルトラマラソンに挑戦、完走！頑張れオレ！



関東工場 鉄構部
江田 勝也（えだ かつや）さん

仕事編　地道な反復学習で掴んだ「溶接管理技術者1級」の合格！

過去問と講習で配布された問題集を解き続け、間違えた問題には印を付け、次に解くときは印を付けた問題のみを解く。その繰り返しで、最終的にはすべての問題が解けるようになりました。総務から合格の連絡をいただいたときは、嬉しすぎて叫んでしまったほどです（笑）

プライベート編　大学時代の友人と10年ぶりに偶然再会

その友人は大学卒業後にホームセンターで働いていたのですが、今は弁護士として働いていて驚きました。

2026年の意気込み　「溶接管理技術者特別級」を目指したいと思います。今後後輩ができたとき、「溶接のことなら何でも知っている」先輩になるつもりです！

1年振り返りカレンダー

2025年は、憲政史上初の女性総理大臣が誕生し、26年間続いた連立政権が幕を下ろしました。
『戦後80年』の節目に、政治が歴史的な転換点を迎えた年として記憶されるでしょう。
その一方で、大阪万博は未来の技術と世界の笑顔で溢れ、エンタメやスポーツも新たな熱狂を生み出しました。
世間で起きた出来事と共に、ご自身の1年を振り返ってみてください！

1月　日銀、0.5%への追加利上げを決定

日本銀行が政策金利を0.5%へ引き上げる追加利上げを決定。2024年7月以来の利上げで、金利は約17年ぶりの水準となりました。長年続いた金融緩和政策からの出口戦略が、着実に進められた年明けでした。

JANUARY 24

2月　米トランプ政権、鉄鋼などに追加関税

1月に就任した米国のトランプ大統領が、輸入される鉄鋼とアルミニウムに25%の追加関税を課す布告に署名。日本製品も対象とみられ、世界経済の不確実性が高まり、日本の製造業は難しい対応を迫られました。

FEBRUARY 10

4月　大阪・関西万博、ついに開幕

4月13日、20年ぶりとなる国際博覧会「大阪・関西万博」が開幕。準備の遅れが懸念されましたが、開幕後は「ミャクミャク」グッズなどが人気を集め、10月の閉幕まで日本中を巻き込む熱狂の舞台となりました。

APRIL 13

5月　コメ価格が高騰、「5キロ5000円」時代へ

2024年の大凶作を受け、コメの価格が高騰。5月にはスーパーでの平均価格が「5キロ約4400円」と報じられ、食卓にも大きな影響が。「コメ離れ」が加速し、日本の食料安全保障と食文化のあり方が問われました。

MAY 5

6月　映画『国宝』が興収170億円超の大ヒット

吉沢亮主演の映画『国宝』が6月6日に公開され、興行収入170億円を突破する歴史的な大ヒットを記録。「復習」のための原作本購入や、本物の歌舞伎公演に足を運ぶ人も続出し、社会現象となりました。

JUNE 6

9月　「東京2025世界陸上」開催、競歩でメダル

9月に「東京2025世界陸上」が国立競技場で開催。お家芸の競歩では、女子20kmで藤井菜々子選手が日本女子競歩史上初の銅メダル、男子35kmで勝木隼人選手も銅メダルを獲得し、満員の観客を沸かせました。

SEPTEMBER 13-21

10月　高市早苗氏、憲政史上初の女性総理に

10月4日、自民党総裁選挙で高市早苗氏が新総裁に選出され、憲政史上初の女性総理大臣が誕生。直後には公明党が連立離脱を表明。「戦後80年」の節目に、日本の政治が歴史的な転換点を迎えました。

OCTOBER 4

11月　COP30、アマゾンの玄関口ベレンで開催

国連気候変動枠組条約第30回締約国会議（COP30）がブラジル・ベレンで開催。パリ協定の「1.5度目標」達成が危ぶまれる中、「森林保全」や「エネルギー移行」、社会的不平等是正が主要議題となりました。

NOVEMBER 10-21

12月　2025年「今年の漢字」が決定！

2025年の漢字は、史上初の「熊」に決定！全国で相次いだクマ被害や、パンダの返還が主な理由です。実は2位の「米」とは、わずか180票差という歴史的な大接戦でした。3位には女性初の首相誕生や物価高の影響で「高」がランクイン。激動の1年でしたが、みなさんにとっての「今年の漢字」は何ですか？

DECEMBER 12